

信頼してもらえる不動産会社を目指し 事業を通して地域社会に貢献する



代表取締役
上田 恭典



不動産売買や仲介、アパート管理、相続のコンサルティングなどを手掛けている『アイピースホーム』。同社の上田社長は、人の生活に大きく関わる仕事を行っていることを意識し、感動を届けられる存在でありたいと日々誠実に向き合っている。本日はタレントの島崎敏郎氏が同社を訪問し、社長にインタビュー。

——上田社長は、社会人の第一歩はどのような仕事に就かれましたか。

父親が住宅関係の仕事をしていた影響もあって、建築会社に入社しました。そこでアパートの営業をしていたんです。地主さんのところを回って、「アパート経営をしませんか」とお声がけする仕事でして、非常に良い勉強になりました。入

社半年後には会社の新人賞もいただくことができました。

——有能な営業マンだったんですね。しかし、かなり難しい仕事なのでは？

はい。門前払いされることも少なくありませんが、私が意識していたのは、アパートのことは口に出さず、まず人間関係を築き信頼していただくことです。たとえばゴルフが好きな方なら、私も一緒にゴルフをさせていただき、そこから徐々に仲良くなったこともありました。とても時間がかかるのですが、人として信頼していただけるように努め、お客様にとって本当にプラスになるご提案をすることが大事です。この経験は、今にも生きていますね。

——「この人になら」と思われるように、ということですね。そこから独立されたのでしょうか。

その後はゼネコンに転職し、新しく立ち上げられた住宅事業部で営業を経験しました。そちらで何年か勤めた後は不動産会社でもさらに経験を積み、この『アイピースホーム』を設立したんです。勤務時代に築いたつながりや経験が役立っており、お陰様で順調です。当社が入っているビルも、以前知り合った地主さん

とのご縁から入居したんですよ。

——本当に、周囲の方々と良い関係を築いていらっしゃるんですね。今は具体的にはどのような仕事メインですか。

ここ滋賀県を中心に分譲開発や土地の売買、賃貸などを手掛けています。現在40区画ほど分譲開発をしており、5年後にはどんどん住宅を建てていきたいですね。当社では「笑いと感動のスペースクリエイター」を目指しており、人が暮らす不動産というスペースを扱うことで、皆様の生活に笑いや感動を提供できればと考えています。その一環として『くさつ未来プロジェクト』さんとのタイアップによる子育て支援活動や、地元の祭りでの模擬店出店などにも積極的に参加し、地域の皆様に認めていただけるよう努めています。

——御社なら、不動産について相談する際にも安心感があると思いますよ。

ありがとうございます。また、社員たちが仕事を通して地域貢献する中で、「この会社で働いて良かった」と思ってくれる会社になりたいと考えています。関わる皆様が幸せになれる会社を目指して、頑張っていきたいですね。

(取材 / 2020年9月)



ゲスト
島崎 俊郎

「上田社長が周囲の方々と大切に思っておられることや、お仕事に対して誠実に向き合っておられる様子が伝わってきた対談でした。地域愛も感じましたし、草津市にとってなくてはならない会社になっていきそうです」



アイピースホーム 株式会社

滋賀県草津市野路町 683 番地 6-201

URL : <http://ipeacehome.com/>